

14. 八王子の森から浅川の河原へ

(時: 2011年 場所: 東京 八王子)

とうきょう はちおうじ
東京の八王子まできて地面に落ちたぼくは、今度は地面にあった
すなつぶ 砂粒にくっついた。そのすなつぶ 砂粒は森の中にあったから、しばらくは静
かな森の中にいた。

でもある日、大雨が降って地面の上を激しく水が流れた時、ぼく
がくっついていたすなつぶ 砂粒も一緒に流された。大水と一緒にどんどん流
され、気がつくとはくはかわら 河原にいた。ぼくがかわら 河原でじっとしている
と、今度は暑くて雨が降らない日が続く、かわら 河原のすな 砂はからか
らに乾いてしまった。

そんな時、急に強い風が吹いて、ぼくはすなつぶ 砂粒と一緒に吹き飛ばさ
れた。そして今度はだれかの家の屋根の上に落ちた。



15. 民家の屋根

(時: 2013年 場所: 東京 八王子)

しばらくはその家の屋根にはりついてたけれど、そのうちまた
雨が降って、ぼくは雨どいを伝わってその家の庭の片隅の砂粒に
なった。そこには、ぼくと同じように飛ばされて、屋根に落ちた末に
ここにたどりついたぼくの仲間がたくさんいた。みんな福島第一原
子力発電所から飛んできていた。

そのうちまた雨が降らない日が続くと、砂粒は乾燥してぱさぱさ
になり、風で玄関の近くに飛ばされた。そして、その家の人が掃除
をした時に、ぼくのくっついた砂粒はゴミと一緒にゴミ箱に捨てら
れた。

